

得するANA&JAL+国内空港ランキング グルメ、近道、混雑回避...

個人生活を刺激する流行情報誌

日経トレンドィ

細かすぎる

新千歳空港 & 福岡空港

3

MARCH 2026
特別定価 790円

得に飛ぶ

2026

チケットシステム
大改変

ラウンジ

上級会員

LCC

ポイ活

ANA & JAL

最新案内

B787-10 & A350-900

JALの半額以下で行ける!?

“お宝機材”に乗る方法

北米はZIPAIRが割安

最強 クレカ、特典航空券の**抜け道** 大調査!

搭乗なしでOK! **ため方は仕組みが9割**

マイル裏戦略

陸マイラー必見

クレカ最強の2枚



PR

「ディスカバー農山漁村の宝」 (第12回選定)選定地区等一覧

- 一般社団法人Local Revolution★グランプリ
北海道函館市
- 特定非営利活動法人ゆめみへる
北海道登別市
- 水口清人
青森県平川市
- 株式会社スタディア★特別賞
岩手県滝沢市
- 宮城県農業高等学校 農業科 作物部門
宮城県名取市
- 特定非営利活動法人SCR
宮城県富谷市
- 紅花推進協議会
山形県山形市
- 庄内赤川土地改良区★特別賞
山形県鶴岡市・三川町・酒田市
- 深作勝己★優秀賞
茨城県鉾田市
- 大谷グリーン・ツーリズム推進協議会
栃木県宇都宮市
- esDgz OTAKI.EXE
千葉県大多喜町
- 株式会社ウミゴロー★優秀賞・★特別賞
静岡県西伊豆町
- 八米(HACHIBEI)★特別賞
新潟県阿賀野市
- フルタニランパー株式会社
石川県金沢市
- 福岡富士子
石川県能美市
- 伊自良の里・食と農推進協議会
福井県福井市
- 海女振興協議会★優秀賞
三重県鳥羽市・志摩市
- 「神部の祈り」産学官連携日本酒プロジェクト
三重県明和町
- NPO法人愛のまちエコ倶楽部★特別賞
滋賀県東近江市
- 東洋大学附属姫路高等学校
地域活性化部PROJECT TOYO★特別賞
兵庫県姫路市
- 十市町地域保全向上活動組織
奈良県橿原市
- 大山乳業農業協同組合★優秀賞
鳥取県琴浦町
- 下町水士里会
鳥取県八頭町
- 株式会社あくりてらす阿知須★特別賞
山口県山口市
- 一般社団法人そらの郷★特別賞
徳島県美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町
- 三高みんなの食堂プロジェクト
(香川県立三本松高等学校、農事組合法人福栄中央)
香川県東かがわ市
- 高知農業高等学校畜産総合科3年 加工班
高知県南国市
- 彼杵おもしろ河川団★優秀賞
長崎県東彼杵町
- かごしま深海魚研究会
鹿児島県鹿児島市
- 株式会社日本バイオテック★特別賞
沖縄県糸満市

詳しくは
「ディスカバー農山漁村の宝」
ウェブサイトまで



問合せ / 農林水産省 <https://www.discovermuranotakara.com/>

優秀賞 コミュニティ・地産地消部門



長崎県東彼杵町 彼杵おもしろ河川団

森・川・海をつなぐ 資源循環の仕組みづくり

海岸清掃を起点に、魚道整備や山林保全へと活動を広げ、森・川・海の取り組みへと発展。間伐材や薪の活用による資源循環を進め、行政や企業、教育機関と連携しながら雇用創出にも貢献。生態系と地域文化の醸成を結び付ける好事例となった。



三重県鳥羽市・志摩市 海女振興協議会

海女文化を未来へ伝える 地域一体の取り組み

海女漁業を貴重な地域資源と捉え、海女文化の振興と保存・継承を目指す。「全国海女サミット」の開催により地域を超えた連携を深めるほか、海女が採取した海藻などを「海女もん」としてブランド化し、所得向上や観光活用につなげている。

「ディスカバー農山漁村の宝」とは



地域資源の価値化や担い手育成など、全国の農山漁村で生まれる挑戦を共有するために、農林水産省が2014年に創設した表彰制度。毎年の優良事例の選定と発信を通じて、他地域への横展開を促し、「強い農林水産業」「美しく活力ある農山漁村」の実現を後押ししている。

授与式終了後には、受賞者スピーチや交流の場も設けられ、地域分野を超えた意見交換が行われた。こうした機会を通じて、選定地区同士による共創も生まれているという。地域から始まる小さな挑戦が、日本の未来を支える大きな力へと育っていく。その軌跡を、「ディスカバー農山漁村の宝」特設サイトでぜひ目の当たりにしてみてください。

優秀賞 個人部門



茨城県鉾田市 深作勝己

農業の6次産業化で多様性のある働き方を実現

6代続く果物農家として循環型農法を実践しつつ、直売所や時間無制限のいちご狩り、6次産業化を推進。農園型テーマパークへと発展させ、人気スポットに。多様性のある職場を実現し、就農希望者向けの勉強会など後進育成にも力を入れる。

林座長は、「どの事例も落としがたく、審査は非常に難しかった」と振り返りつつ、若者や女性の活躍ICTの活用、官民共創など、近年の取り組みの多様化を評価した。今回、「グランプリ」優秀賞、そして各有識者による「特別賞」を受賞したのは、計14の団体・個人それぞれに特別な賞が贈られ、この日集まった30地区すべてに選定証が授与された。有識者からの賛辞の言葉に、受賞者たちも達成感に満ちた笑顔で応えていた。

グランプリ ビジネス・イノベーション部門

厄介なマイワシの 価値化から始まった 水福連携プロジェクト



北海道函館市 一般社団法人 Local Revolution

海水温上昇により急増したマイワシを「ハコダテアンチョビ」としてブランド化。漁業・加工事業者や福祉施設などと連携し、かかわる全ての人々が利益を得られる仕組みを構築した。受賞者は「困っている声をきっかけに始まった」(岡本啓吾氏)、「未利用魚から特産品や水福連携が生まれた」(齊藤勇磨氏)と振り返り、「脂ののった函館のマイワシは世界に通用する味わい」(齊藤巨胤氏)と自信を見せる。

優秀賞 ビジネス・イノベーション部門



鳥取県琴浦町 大山乳業農業協同組合

未利用資源を活かした循環型酪農モデル

未利用のバイオ炭を活用した堆肥づくりで、酪農の課題解決に挑戦。資材コストやCO₂の削減に加え、土壌改良を通じた生産性向上にも貢献するなど好循環を生み出している。

今回の「宝」を掘り起こし、次の成長へとつなげていく。農林水産省が推進する「ディスカバー農山漁村の宝」は、そうした各地の挑戦を表彰し、全国に発信する取り組みだ。第12回となる選定証授与式は、2025年12月19日、農林水産省本館7階講堂で開催。開会にあたり、山本啓介農林水産大臣政務官は、「自然を相手にする営みの中では、試行錯誤を重ねるからこそ、工夫や知恵、協力が生まれる」と述べ、受賞者たちの取り組みに敬意を示した。今回、全国から寄せられた応募総数は454件。その中から、30の団体・個人が選定された。選定にあたっては、国立科学博物館顧問、東京大学名誉教授の林長博氏を座長とする9人の有識者懇談会委員、俳優の永島敏行氏、フランス料理のシェフの三國清三氏など、各分野の第一線で活躍するメンバーが、ビジネス性やコミュニティ運営など多角的な観点から審査を行った。



静岡県西伊豆町 株式会社ウミゴロー

DXを活用し、持続可能な漁村づくりに貢献

漁港の釣り場予約サービス「海釣りGO」を通じ、収益を地元還元。漁業者と釣り人が共存する仕組みを実現した。現在はアプリ「UMIGO」として多様なサービスを展開中。

地域の「宝」を再発見！

30が決定

ディスカバー農山漁村の宝 アワード

～第12回選定～

地域資源を価値化する取り組みを顕彰する、農林水産省の「ディスカバー農山漁村の宝」。今年も全国30の優良事例が選定された。その取り組みを授与式の模様とともに紹介する。

そこにしかない資源を有効活用、地域社会の活性化に貢献する